

「節目」を大切にしよう 終業式 校長講話より

今日で 85 日間の 2 学期が終了しました。2 学期の始業式には、校長先生から 5 つの気を意識して頑張っていこうという話がありました。「元気」「やる気」「本気」「根気」「勇気」の 5 つの気ですが、子ども達の 2 学期はどんな学期だったのでしょうか？今日の終業式の校長講話では、学校行事やそれぞれの学年の取り組みの様子を引用しながら、5 つの気を意識した充実した 2 学期だったと評価していただきました。明日から 12 日間の冬休みです。「年越しの手伝いをしっかりやる」「家族団らんでしっかり楽しむ」「3 学期の準備や課題に集中する」というめあてを持ち、充実した休みにしてください。

校長講話より

2 学期の屋代小は、全校で、学年で、学級で、グループで、児童会で、クラブや金管バンドで、仲間と支えあい、助け合い、協力し合い、励まし合い、教えあった学期でした。みなさんが笑顔いっぱいの屋代小を心がけてくれていました。いじめや仲間はずしなどがなく頑張ってくれていました。 ～中略～



さて、まもなく 12 月 31 日、そして新しい年 1 月 1 日になります。ものごとや人・年・年度の区切りを「節目」といいます。「節目」を大切にしたいと思っています。「節」と言えば、「竹」には節があります。ま

っすぐ空高く伸びる竹は、この「節」があるから成長すると言われています。竹は「タケノコ」の時に「節」の数が決まっています。節と節の間に成長する細胞があり、



どんどん伸びていきます。だから、生まれた時に、どの程度まで伸びるかがほぼ決まっているわけです。節の数以上には伸びません。そして大事なのが、竹の「しなやかさ」「強さ」です。竹の枝や葉っぱには雪が積もっても折れません。元に戻る力があります。その「しなやかな強さ」を作っているのもこの節や空洞だと言われています。君たちも、何か苦しいこと、いやなことがあったり、失敗したりして、うつむくことがあるかもしれません。しかしこの竹のように、また起き上がる「しなやかな強さ」をぜひ身に付けてほしいと思います。そのためにも「節目」を大事にしてほしいと思います。

「節目」を大事にするということは、この一年、この二学期を振り返り、失敗やいけなかったことを反省して、それを次に活かすということです。みなさんもこの一年間を振り返り次の新しい年に向けて活かして欲しいと思います。

よいお年をお迎えください。

信州CS支援ボランティア

習字・音楽交流

10月に屋代小学校信州型コミュニティスクールの発足の会をしました。できるところからやってみようということで、今回書き初めの指導を習字ボランティアの方々にお願いしました。子ども達も真剣な表情で授業に臨んでいました。朱を入れながら一人ひとり丁寧に見ていただく場面もありました。また24日には、屋代南高校吹奏楽部の皆さんが音楽交流会ということで素敵な演奏を聴かせに来てくださいました。子ども達も真剣な表情で聴いていました。学校側から気軽にお願いでき、ボランティアとして来ていただける方も気軽にお手伝いできる形になっていくとありがたいと思います。今後もよろしくお願いします。



習字ボランティアの方々



屋代南高校吹奏楽部の演奏

児童会「ゆいと祭り」 笑顔がいっぱいの屋代小 12/22

22日（火）に児童会最大の行事「ゆいと祭り」がありました。今年は、各委員会の役員さんが遊びコーナーの準備や進行をし、兄弟学級の2人組・3人組で協力しながらゲームを楽しむというものでした。短い準備時間でしたが、10の遊びコーナーはそれぞれ工夫されていました。高学年の子が低学年の手をつないであげたり、おんぶしてあげたり、支えてあげたり、優しく教えてあげたりと、ほほえましい場面がたくさんありました。児童会スローガンにある「笑顔」「協力」がたくさん見られました。終わりの会の感想発表では「仲良くできてうれしかったです。」「役員さんにも感謝しています。」など、優しい言葉がたくさん並びました。優しい屋代っ子で、これからもたくさんの笑顔を広めていって欲しいです。

